

科目名		<h1>小児科学特論</h1>	
科目責任者		楠原浩一	(小児科学 教授)
担当者		保科隆之	(小児科学 准教授)
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>日々ダイナミックに成長・発達をとげる小児の特性を理解し、その文脈の中で小児疾患や小児をとりまく社会的諸問題をとらえる。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 小児の成長・発達について概説できる。 2) 小児をとりまく社会的問題について理解し、その対応を概説できる。 3) 小児の感染症の特性とその診断・治療について概説できる。 4) 小児の神経疾患の特性とその診断・治療について概説できる。 5) 小児の発達障害の特性とその診断・治療について概説できる。 6) 小児の内分泌・代謝疾患の特性とその診断・治療について概説できる。 7) 小児の呼吸器疾患の特性とその診断・治療について概説できる。 8) 小児の消化器疾患の特性とその診断・治療について概説できる。 9) 小児の腎疾患の特性とその診断・治療について概説できる。 10) 小児の遺伝病・先天異常の特性とその診断・治療について概説できる。 11) 新生児疾患の特性とその診断・治療について概説できる。 12) 小児の心身症の特性について概説できる。 13) 思春期の特性とその診断・治療について概説できる。 14) 小児の循環器疾患の特性とその診断・治療について概説できる。 15) 小児の免疫・アレルギー疾患の特性とその診断・治療について概説できる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容30%、討議への参加度30%、課題レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)

小児の成長発達

小児をとりまく社会的問題

小児感染症学

小児神経学、発達障害

小児内分泌代謝病学

小児呼吸器病学

小児消化器病学

小児腎臓病学

小児循環器病学

小児免疫アレルギー病学

小児遺伝病学、先天異常

新生児病学

小児心身症学

思春期病学

小児保健学